

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	耐震診断・改修小委員会	主 査 名：山下哲郎 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：大崎純
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・設置目的：大空間施設の耐震性に関する研究成果をとりまとめ、空間構造特有の地震時挙動を整理するとともに、地震後も避難所として機能するために必要な条件を明らかにし、非構造材も視野に入れた耐震診断、改修方法を提案する。</p> <p>・2014 年度計画：体育館の動的挙動と耐震性評価を中心に現状の研究をとりまとめ、現時点の知見を整理するとともに、編集中の「ラチスシェル屋根構造設計指針・同解説」の内容に織り込む。</p> <p>・2015 年度計画：空間構造の耐震性に関する最新の知見をとりまとめた建築学会セミナーまたは小規模なシンポジウムを開催し、成果を発信する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：山下哲郎 (工学院大学) 幹事：松本幸大 (豊橋技術科学大学)、立道郁生 (明星大学) 委員：石川浩一郎 (福井大学)、大家貴徳 (巴コーポレーション)、片迫幹男 (日本設計)、加藤史郎 (豊橋技術科学大学)、川口健一 (東京大学)、竹内徹 (東京工業大学)、中澤祥二 (豊橋技術科学大学)、松岡祐一 (新日鉄住金エンジニアリング)、諸岡繁洋 (東海大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 鉄骨造体育館の地震応答特性と現在の耐震診断法の乖離について整理。 2. 東日本大震災における置屋根構造の被害を分析し、耐震診断法を整理。 3. 以上踏まえ、動的耐震性指標を用いて空間構造の動的特性を反映する新しい耐震診断手法をまとめ「ラチスシェル屋根構造設計指針・同解説」に記述した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 東京での開催なので遠距離の委員が参加しづらい。